**様式第１号（第８条、第９条関係）**

# 事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2021年　　7月　　28日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所　　（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17

氏名　　（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

ポラテック西日本株式会社

代表取締役　中内 晃次郎

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第３項　・ ~~第20条第４項~~　~~第22条第１項~~　・ ~~第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~）の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

| | |
|---|---|
| 事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名） | ポラテック西日本株式会社　代表取締役　中内 晃次郎 |
| 事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） | 滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17 |

１　事業所の概要

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業所の名称 | ポラテック西日本株式会社　滋賀工場(ロハスフィールド) | | | | | |
| 事業所の所在地 | 滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17 | | | | | |
| 主たる事業 | 細分類番号 | 1 | 2 | 2 | 4 | 建築用木製組立材料製造業 |
| 該当する事業者の要件 | ☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | ☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | ☐ 任意提出事業者 | | | | | |

２　計画の内容

| | |
|---|---|
| 計画の内容 | 別添のとおり |

注　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

**標準様式第１号**

（第１面）

１　計画期間

| | |
|---|---|
| 計　画　期　間 | 2021　　年度　～　　2023　　年度 |

２　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち＜ポラテック西日本(株)滋賀工場＞は、より長く大切に使う住まいづくりのために、木造建築物を供給する企業として環境への取り組みを行います。

1.法令、契約内容、社内ルールを十分に理解し、遵守します。

2.サスティナブル(持続可能)な森林経営を行っている林区の木材のみ輸入し加工を行います。

3.非住宅分野において、積極的に木造建築をご提案し、木造化の流れを推進します。以上は、$CO_2$の削減等、地球環境を守る事に繋がります。

4.工場におけるエネルギー使用状況を管理し、削減します。

5.工場における歩留り向上や端材の再利用、再資源化を推進し、廃棄物の排出量を削減します。

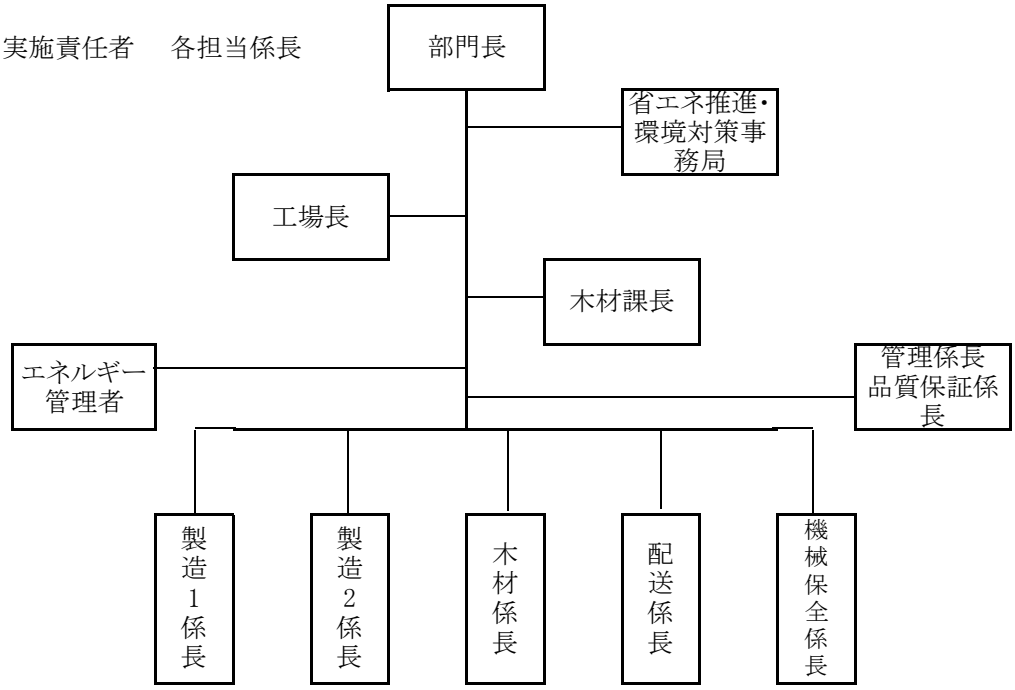
※従業員は上記項目を念頭におき、継続的改善に取り組むものとします。

３　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

○　責任者　　部門長

○　実施責任者　　各担当係長

組織図:省エネ推進・環境対策体制図




備考　　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

４　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

・工場屋根に太陽光発電装置を設置。

・工場内・事務所・駐車場の水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯をLED照明に切替。

・歩留り向上ソフトを導入し、木材の歩留り向上。

・木材端材、不良材発生後の再利用方法を検討し、廃材の低減。

・プレカット加工機用真空ポンプをインバーター化。

・プレカット加工機用廃材コンベア一部を間欠運転に切替。

５　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（１）エネルギー起源$CO_2$排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 取組項目 | 取組の内容 | 実　施<br>スケジュール |
|---|---|---|---|
| 1 | 設備更新 | 照明設備のLED化を図る。(工場内部8箇所) | 2021年～2022年 |
| 2 | 設備更新 | 照明設備のLED化を図る。(工場外部26箇所) | 2021年～2022年 |
| 3 | 設備改造 | コンプレッサーの2次側供給制御を図る。(7ライン) | 2021年～2023年 |
| 4 | 設備更新 | コンプレッサーをインバーター式に入替える。(4台) | 2021年～2022年 |
| 5 | 設備改造 | 集塵機(定量機)の間欠運転をセンサー化を図る。(2台) | 2021年～2023年 |
| 6 | 設備改造 | 廃材コンベアの間欠運転を図る。(2ライン) | 2022年～2023年 |
| 7 | | | |
| 8 | | | |

（２）エネルギー起源$CO_2$以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 温室効果ガス<br>の種類 | 取組の内容 | 実　施<br>スケジュール |
|---|---|---|---|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

（３）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

5(1)の項目の取組みにより、エネルギー使用量の原単位で1%削減とする

$$\text{原単位}\quad \frac{\text{エネルギー使用量(原油換算Kl)}}{\text{生産数量(坪数)}} \quad \Rightarrow \quad 1\%\text{削減}$$